

各位

福岡県立アジア文化交流センター

九州国立博物館開館20周年記念ロゴマーク・デザイン作成等業務に係る  
質問への回答について

このことについて、以下のとおり回答します。  
なお、質問の表記は、原文の概要を掲載しております。

質問	回答
① 公募に参加するためには、福岡県の入札参加資格が必要か。	不要です。（7月4日 回答）
② 20周年ロゴマークの利用期間は、いつからいつまでか。	作成したロゴマークは納品日から令和8年3月末までの利用を想定しています。 ただし、上記の期間以降も、ホームページや関連グッズ等にロゴマークを掲載する可能性がございます。（7月8日 回答）
③ 「企画提案公募実施要領」の「8 企画提案書作成について」の「(2) 企画内容」の「②ロゴマークのデザインについて」には最大2案までの提案と記載されているが、「仕様書」の「4 業務内容の詳細」 「(1)九州国立博物館開館20周年記念ロゴマーク・デザイン作成業務」には5案程度の提案を行うことと記載されている。今回のご提案時には2案までなのか5案程度なのか。	7月29日(月)を提出締切としている企画提案書においては、最大2案まで提案することとします。 また、「仕様書」の「4 業務内容の詳細」 「(1)九州国立博物館開館20周年記念ロゴマーク・デザイン作成業務」における「5案程度の提案を行うこと」を「2案程度の提案を行うこと（原則、企画提案書で提案された最大2案から最終的なロゴマークを選定する。ただし、別途提案が必要な事情が生じた場合は別案を提案すること。）」に変更します。（7月8日 回答）
④ 既存の九州国立博物館のロゴマークと組み合わせたデザインを提案して良いか。 また、使用が可能な場合は既存ロゴマークのマニュアルを提供してほしい。	既存のロゴマークと組み合わせたデザインを提案することは差し支えありません。 既存のロゴマークの提供を希望する場合は、以下の問い合わせ先までメールにて申し出てください。 【問い合わせ先】 九州国立博物館 広報課 花谷 Mail:kouhou@kyuhaku.jp (7月8日 回答)

<p>⑤ 九州国立博物館として想定している、最低限の類似商標の調査方法を教えてほしい。</p>	<p>最終的な類似調査は九州国立博物館が行うこととします。そのため、「仕様書」の「4 業務内容の詳細」「(1)九州国立博物館開館20周年記念ロゴマーク・デザイン作成業務」における「ロゴマークの商標登録に係る類似商標の調査を行うこと」は削除します。提案者におかれましては、可能な限りロゴマーク年鑑などの専門書やインターネット検索等により類似のデザインが無いことを確認し提案にあたってください。(7月8日 回答)</p>
<p>⑥ 企画提案書において、ロゴマークを使用するにあたってのガイドラインも提案する必要があるか。</p>	<p>不要です。ロゴマークを使用するにあたってのガイドラインは、業務委託契約の満了日である9月10日(火)までに、作成を完了させることとなります。業務委託契約後、発注者による確認や校正にかかる期間を踏まえつつ、発注者と協議のうえ作成にあたってください。</p>
<p>⑦ 既存の九州国立博物館ロゴマークの持つ意味(形状、色など)や成り立ちを教えてほしい。</p>	<p>施設の構想などについては、『開館10周年記念九州国立博物館史』に掲載されています。該当ページのスクリーンデータをホームページに掲載しますのでご覧ください。(回答別紙1)</p>
<p>⑧ 九州各地の文化を盛り上げていくために、20周年事業として特別な取り組みを実施する予定があれば教えてほしい。</p>	<p>現時点で公開している20周年事業は、「挂甲の武人 国宝指定50周年記念/九州国立博物館開館20周年記念 特別展 はにわ」になります。以下のページに概要が掲載されています。 <a href="https://www.kyuhaku.jp/exhibition/exhibition_schedule.html">https://www.kyuhaku.jp/exhibition/exhibition_schedule.html</a> その他の事業は公開しておりません。</p>
<p>⑨ 九州国立博物館の魅力について、独自に定義・発信されているものがあれば教えてほしい。</p>	<p>魅力の検討も含めて行ってください。なお、当館が情報を発信しているものは以下などがありますので参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州国立博物館パンフレット <a href="https://www.kyuhaku.jp/pdf/pamphlet_jp.pdf">https://www.kyuhaku.jp/pdf/pamphlet_jp.pdf</a></li> <li>・九州国立博物館HP 館長あいさつ <a href="https://www.kyuhaku.jp/museum/museum_info01.html">https://www.kyuhaku.jp/museum/museum_info01.html</a></li> <li>・九州国立博物館案内リーフレット <a href="https://www.kyuhaku.jp/pdf/leaflet2024_jp.pdf">https://www.kyuhaku.jp/pdf/leaflet2024_jp.pdf</a></li> <li>・九州国立博物館季刊情報誌「アジアージュ」(バックナンバー) <a href="https://www.kyuhaku.jp/visit/visit_book.html#aji">https://www.kyuhaku.jp/visit/visit_book.html#aji</a></li> <li>・九州国立博物館メールマガジン(バックナンバー) <a href="https://www.kyuhaku.jp/mailma/mailma_backnumber.html">https://www.kyuhaku.jp/mailma/mailma_backnumber.html</a></li> <li>・九州国立博物館公式 X (@kyuhaku_koho) <a href="https://twitter.com/kyuhaku_koho?s=20">https://twitter.com/kyuhaku_koho?s=20</a></li> <li>・九州国立博物館公式 Instagram (kyuhaku_koho) <a href="https://www.instagram.com/kyuhaku_koho/">https://www.instagram.com/kyuhaku_koho/</a></li> <li>・九州国立博物館公式 Facebook (Kyushu National Museum) <a href="https://www.facebook.com/kyushu.national.museum">https://www.facebook.com/kyushu.national.museum</a></li> <li>・九州国立博物館公式 YouTube (kyuhakuchannel) <a href="https://www.youtube.com/c/kyuhakuchannel">https://www.youtube.com/c/kyuhakuchannel</a></li> </ul>
<p>⑩ 未来的なフォルムの建物が特徴的だが、この形状になった理由を教えてほしい。また、建設時のコンセプトがあれば教えてほしい。また、鮮やかなブルーも印象的だが、この</p>	<p>施設の構想などについては、『開館10周年記念九州国立博物館史』に掲載されています。該当ページのスクリーンデータをホームページに掲載しますのでご覧ください。(回答別紙2)</p>

色である理由も教えてほしい。	
⑪ 20周年を迎えこれからどのような存在になっていきたいか。目標や展望を教えてほしい。	多くの方に愛され、必要とされる博物館を目指しています。その他、⑨の回答で紹介した媒体などを参考に検討してください。
⑫ ロゴマークに求める条件に「九州国立博物館」もしくは「Kyushu National Museum」の文字またはロゴを含んだデザインとすること。」とあるが、既存の九州国立博物館のロゴマークと併用して使用する周年ロゴマークではなく、10周年のロゴマークと同じように、周年ロゴマーク単体で九州国立博物館の名前を伝える役割を持たせることを想定しているか。もしくは、既存の九州国立博物館のロゴマークと横並びで併用することを想定しているか。	シンボルマークとロゴタイプの組み合わせにより、九州国立博物館の名前を伝える役割を持たせることを想定しています。また、シンボルマークの中に博物館の名前が一体的に含まれるデザインでも差し支えありません。ただし、既存の九州国立博物館のロゴマークと横並びで併用する場合もございます。
⑬ 九州国立博物館の魅力を発信する目的で、20周年であることを伝える以外のフレーズを添えることも想定されるか。	20周年であることを伝える以外のフレーズを含めて提案して差し支えありません。ただし、必須ではありませんので、事業の目的の達成のために効果的なデザインを提案してください。
⑭ 九州国立博物館のコンセプトは、「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」から変更されてないか。	変更していません。
⑮ 審査基準に「インパクトのあるデザイン」とあるが、九州国立博物館らしさを表現するだけではなく、注目度を高めるために、ある程度の奇抜さや独創性も期待しているか。	仕様書にて提示している、事業の目的、ロゴマークに求める条件等を踏まえて検討してください。
⑯ 企画提案書において、カラー・モノクロ両方のデザインを提示する必要があるか。	企画提案書において、カラー・モノクロ両方のデザインを提案することは必須ではありません。ただし、カラー・モノクロ両方のデザインを提案しても差し支えありません。
⑰ ロゴのデザインについてどのような印象や雰囲気希望しているか。	九州国立博物館のなりたちや現状を分析し、より効果的と思われるデザインをご提案ください。
⑱ ロゴマークに込めたいテーマやメッセージはあるか。	九州国立博物館のなりたちや現状を分析し、より効果的と思われるデザインをご提案ください。
⑲ 九州国立博物館の来館者層を教えてください。また、ロゴマークのターゲット	2019年に実施した「九州国立博物館来館者・非来館者調査」の報告書によると、来館者のうち多い年代の上位3つは60歳以上の35%、50代の19.6%、40代の14.4%です。

トは、現行の来館者層とすべきか、現行の来館者層とは異なる層とすべきか。	なお、今回作成するロゴマークのターゲットは指定しませんので、九州国立博物館のなりたちや現状を分析し、より効果的と思われるデザインをご提案ください。
⑳ ロゴマーク制作にあたり、参考・目標としている公共施設や企業等はあるか。	特定の公共施設や企業等はありません。
㉑ 「企画提案公募実施要領」の「7 応募方法」「(1) 応募書類」では、「企画提案応募申込書(様式第2号)：2部」と記載されている。 一方で、「企画提案応募申込書(様式第2号)」には「企画提案応募提案書(本紙) 1部」と記載されている。正しくはどちらか。	「企画提案公募実施要領」の「7 応募方法」「(1) 応募書類」のうち企画提案応募申込書(様式第2号)の提出部数を「1部」に修正します。
㉒ 仕様書の「4 業務内容の詳細(2) ロゴマークを使用するにあたってのガイドラインの作成業務」に、「シンボルマークとロゴタイプを組み合わせたロゴマークとする。」と記載があるが、これは「既存の九州国立博物館のシンボルマークとロゴタイプ」に「20周年」の情報を組み合わせたロゴマークをイメージしているものか。また、使用が可能な場合は既存ロゴマークのマニュアルを提供してほしい。	仕様書の「4 業務内容の詳細」「(2) ロゴマークを使用するにあたってのガイドラインの作成業務」に記載のある、「シンボルマークとロゴタイプを組み合わせたロゴマークとする。」とは、「既存の九州国立博物館のシンボルマークとロゴタイプ」に「20周年」の情報を組み合わせたロゴマークをイメージしているものではありません。シンボルマークとロゴタイプを作成し、それらを組み合わせたロゴマークを提案してください。 ただし、既存の九州国立博物館のロゴマークと組み合わせたデザインを提案しても差し支えありません。  既存のロゴマークの提供を希望する場合は、以下の問い合わせ先までメールにて申し出てください。 <b>【問い合わせ先】</b> 九州国立博物館 広報課 花谷 Mail:kouhou@kyuhaku.jp
㉓ 採択後の打ち合わせは、原則web 会議システムを利用して実施するものと想定して差し支えないか。	差し支えありません。
㉔ 既存の九州国立博物館のロゴマーク及び、ロゴマークで使用しているフォントを使用することは必須か。	必須ではありません。
㉕ 企画提案書を提出する前に企画提案公募への参加手続きは必要か。	不要です。 企画提案書を提出する際に、あわせて「企画提案応募申込書(様式第2号)」を1部提出してください。